

おめでとう山本憲宥・晴美さん

大川奈良市長夫妻が媒酌、人生読本贈る

憲宥(かずひろ)氏夫妻の結婚式が五日、大川靖則奈良市長夫妻を媒酌人として、同市三条本町の三井ガーデンホテル奈良で盛大に行われた。披露宴には百二十人が出席し、同ホテルが一日オープンして、第一号の新郎新婦を送り出すことになった。



大川靖則奈良市長夫妻の媒酌で行われた山本憲宥さん・晴美さんの結婚式

憲宥(かずひろ)氏夫妻の結婚式が五日、大川靖則奈良市長夫妻を媒酌人として、同市三条本町の三井ガーデンホテル奈良で盛大に行われた。

新郎の山本憲宥さんは、奈良大付属高校を卒業後、建設専門学校で土木学

を学んだあと、建設会社に勤務。一方、新婦の(旧姓嫁本)晴美さんは、奈良市立一条高校を卒業後、の初等教育科で学ん

各界から愛情メッセージ

励まし合い、素晴らしい家庭を



「素晴らしい祝儀をいって、結婚生活を清く正しく進めたい」と、晴美さん、憲宥さんの両親が結婚式で述べた言葉



「21世紀は、市立組合の協力で、仲良く進んでほしい」と、松本功・奥医師組合長の挨拶



乾杯は、市長が祝辞を述べた後、市長夫妻、市長、吉川英樹、前市長、市議員、村中誠、前市長、乾杯した



ウェディングケーキに入刀する新郎新婦



出席者を出迎える新郎新婦、大川市長夫妻、両家の両親

郎の人物として「真面目で明るく、今の時代にふさわしい青年。また今日の結婚式でも父親が緊張しているのではと気遣うほど、優しい性格の持ち主」。新婦については「明るい性格の人と評価。市長は、作家・吉川英治の言葉引用しながら「今日から父母のもとを離れ、自分たちの家族を築いていく。大きな花を咲かせてください」と、はなむけのメッセージを送った。また、春日大社の奉斎司からいただいた「神」と書かれた色紙を、二人とも両親の御恩を忘れずに。人生航路の新たなスタートに立たれたが、雨、風の目もしっかりと手を握り合い、励まし合って生きてほしい。幸せは努力してつかむもので、素晴らしい家庭を築き上げていくことを願います」と述べた。

新婦側の来賓祝辞では、松本功・奥医師組合長が「一生懸命、働いてくれた。二人が二十一年間生きてきたことが、たいへんめでたい」とあいさつ。

(このあと、鐘開きがあり、中村誠・前奈良市議会議長の音頭により乾杯が行われ、二人の門出席者全員が祝した。

カメラニュース